

# 集落づくり推進員の業務

- 中山間地域において、集落の巡回による実態把握や困りごと対応、住民による話し合いの促進、集落の取組の支援等を行う「集落づくり推進員」を市内11の事務所に10人配置している。
- 集落づくり推進員は、基本的に中山間地域の高齢化率50%以上の集落を巡回し、活動を行う。

## 1 「集落巡回」で把握した日常的な困りごとへの対応

- 堤防が一部損壊している → 担当課に連絡し修繕してもらう。
- 買い物に行くのが大変 → 移動販売してくれるお店を紹介する。
- 草刈りをする人手が足りない → 「中山間地域支え隊」を紹介する。

### 集落巡回について

- 集落を定期的に訪問し、住民の集まりや行事に参加して集落の状況や課題を把握する
- アポなしでとにかく顔を出す、「**立ち話の中に住民の本音とヒントあり**」
- 顔を覚えてもらうことで、地域の人から相談などで声がかかるようになる

## 2 集落の将来に向けた取組を支援

- 「集落がどうありたいか」、それに向けて「何をしていくか」の地域での話し合いを支援する。
- 地域に対して、補助金や地域おこし協力隊を紹介したり、地域での取組を支援する。  
(例) 地域資源の磨き上げ、地域おこし協力隊の導入、集落の伝統芸能の継承

## 3 より広い地域単位での活性化策の支援

- 地域自治区の住民組織などと連携し、より広い地域単位での集落支援・活性化や来訪者を増加させるための取組といった地域での活動を支援する。